

平成 20 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 ベルーナ
代表者名 代表取締役社長 安野 清
(コード番号 9997 東証第 1 部)
問合せ先 管理 本 部 長 須藤 滋
(TEL. 048-771-7753)

(訂正)「平成 21 年 3 月期 第 2 四半期決算短信」の一部訂正に関するお知らせ

平成 20 年 10 月 31 日に発表いたしました「平成 21 年 3 月期 第 2 四半期決算短信」の記載内容の一部に訂正すべき事項がございましたのでお知らせいたします。

記

[訂正箇所]

訂正箇所には下線を付しております。

・ 2 ページ

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

<訂正前>

[単品通販事業]

ビーエヌ インターナショナル ユーエスエー インクが増収増益を達成したものの、当社グルメ事業と健康食品の㈱リフレが苦戦し、売上高は前年同期比 5.0%減の 12,991 百万円となりました。また、それに伴い営業利益は 4.7%減の 1,792 百万円となりました。

<訂正後>

[単品通販事業]

ビーエヌ インターナショナル ユーエスエー インクが増収増益を達成したものの、当社グルメ事業と健康食品の㈱リフレが苦戦し、売上高は前年同期比 5.1%減の 12,979 百万円となりました。また、それに伴い営業利益は 4.2%減の 1,801 百万円となりました。

<訂正前>

[プロパティ事業]

前年同期に大型物件の売却があった反動で売上高は前年同期比 32.9%減の 1,785 百万円となりました。営業利益も前年同期比 77.8%減の 251 百万円となりました。

<訂正後>

[プロパティ事業]

前年同期に大型物件の売却があった反動で売上高は前年同期比 32.4%減の 1,797 百万円となりました。営業利益も前年同期比 78.6%減の 243 百万円となりました。

・ 7 ページ

5. 四半期連結財務諸表

(2) 四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

<訂正前>

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間	
(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
(省 略)	
営業外収益	
オプション評価益	811
その他	<u>497</u>
営業外収益合計	<u>1,308</u>
営業外費用	
為替差損	1,119
その他	<u>604</u>
営業外費用合計	<u>1,723</u>
経常利益	<u>2,236</u>
(省 略)	

<訂正後>

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間	
(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
(省 略)	
営業外収益	
オプション評価益	811
その他	<u>453</u>
営業外収益合計	<u>1,264</u>
営業外費用	
為替差損	1,119
その他	<u>560</u>
営業外費用合計	<u>1,679</u>
経常利益	<u>2,236</u>
(省 略)	

5. 四半期連結財務諸表

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

<訂正前>

	カタログ 事業 (百万円)	単品通販 事業 (百万円)	アドバンス ド・ファイ ナンス事業 (百万円)	BOT事業 (百万円)	プロパティ 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	31,319	<u>12,991</u>	4,822	774	<u>1,776</u>	2,961	54,646	—	54,646
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	45	—	—	113	8	14	182	△182	—
計	31,364	<u>12,991</u>	4,822	888	<u>1,785</u>	2,976	54,829	△182	54,646
営業利益（又は営業損失）	△512	<u>1,792</u>	580	530	<u>251</u>	△91	2,552	99	2,652

(注) 1.～3. (省 略)

4. 事業区分の方法の変更

事業区分については、従来「カタログ事業」「単品通販事業」「アドバンスド・ファイナンス事業」「BOT事業」「カレーム事業」「プロパティ事業」「その他の事業」の7区分としていましたが、「カレーム事業」について展示会販売事業を平成20年6月に撤退し、その重要性が乏しくなったため、今期より「その他の事業」に含め、6区分に変更しております。

この結果、従来の区分によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の「その他の事業」の売上が2,124百万円増加し、営業利益が139百万円減少しております。

<訂正後>

	カタログ 事業 (百万円)	単品通販 事業 (百万円)	アドバンス ド・ファイ ナンス事業 (百万円)	BOT事業 (百万円)	プロパティ 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	31,319	<u>12,979</u>	4,822	774	<u>1,789</u>	2,961	54,646	—	54,646
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	45	—	—	113	8	14	182	△182	—
計	31,364	<u>12,979</u>	4,822	888	<u>1,797</u>	2,976	54,829	△182	54,646
営業利益（又は営業損失）	△512	<u>1,801</u>	580	530	<u>243</u>	△91	2,552	99	2,652

(注) 1.～3. (省 略)

4. 事業区分の方法の変更

事業区分については、従来「カタログ事業」「単品通販事業」「アドバンスド・ファイナンス事業」「BOT事業」「カレーム事業」「プロパティ事業」「その他の事業」の7区分としていましたが、「カレーム事業」について展示会販売事業を平成20年6月に撤退し、その重要性が乏しくなったため、今期より「その他の事業」に含め、6区分に変更しております。

この結果、従来の区分によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の「その他の事業」の売上が2,124百万円増加し、営業利益が127百万円減少しております。

以 上